



メルセデス・マイバッハ S クラス特別仕様車

MAYBACH

Press Information

2026年3月3日

「Mercedes-Maybach S 680 V12 Edition」限定車を発売

- ・ 1920年代から受け継がれてきたマイバッハ精神と現代のデザイン・技術が融合した特別な1台
- ・ V12エンジンを初搭載した名車「マイバッハ・ツェッペリン」を彷彿とさせる特別外装色
- ・ 内外装に施された専用バッジなどの特別装備や、MANUFAKTUR装備を採用
- ・ 全国限定 5台(世界限定50台)

メルセデス・ベンツ日本合同会社(社長 兼 CEO: ゲルティンガー 剛、本社: 千葉県千葉市)は、メルセデス・マイバッハ S クラスの特別仕様車「Mercedes-Maybach S 680 V12 Edition」を限定発売いたします。本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて注文^{*1}の受け付けを開始し、お客様への納車は 2026 年 3 月以降を予定しております^{*2}。(全国限定 5 台)

なお、販売台数(5 台)を超える申し込みがあった場合には抽選とさせていただきます。

*1: 本特別仕様車の注文は、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店を通じて 2026 年 3 月 12 日(木) 17:00 まで受け付けております。詳しくは、お近くの販売店へお問い合わせください。

*2: 予定のため変更の可能性あります。

1921年から美しいスタイルと贅を尽くした室内空間による圧倒的な高級感で人々を魅了してきた伝説の名車「マイバッハ」。「究極の洗練されたラグジュアリー」を追求する威厳と風格を備えたブランドとして現代に蘇ったのが、「メルセデス・マイバッハ」です。メルセデス・ベンツによる最新鋭のテクノロジーを備え、ゆったりとくつろげる室内空間にプレステージ感あふれるデザインとクラフトマンシップにより仕上げられた高級素材を随所に採用しております。

メルセデス・マイバッハ S クラスは、メルセデス・ベンツのフラッグシップであり、持てる最新技術の全てを搭載した S クラスのロングホイールベースモデルから、さらにホイールベースを 180mm 延長することで後席の居住性が格段に向上しています。また、リアドアの電動開閉機能やアクティブロードノイズキャンセレーション機能などショーファードリブンとしての快適性、静粛性を追求した最新技術の数々を採用しました。さらに、レザーに施された専用のステッチや使用面積が大幅に増加したインテリアのウッドトリムなどにより、ラグジュアリーを極めたアピアランスが特徴です。

マイバッハと「マイバッハ・ツェッペリン」について

マイバッハ社は、ゴットリープ・ダイムラーとともにエンジン開発を行っていたヴィルヘルム・マイバッハが 1909 年に息子であるカール・マイバッハとともに設立しました。当初は飛行船ツェッペリン号に搭載する V 型 12 気筒エンジンの製作を行っていましたが、1920 年代から 1930 年代にかけてマイバッハ・ツェッペリンなどの超高級乗用車の製作を行いました。

「マイバッハ・ツェッペリン」は、1930年代初頭にマイバッハ初の量産12気筒エンジンを搭載した、ブランドを象徴する伝説的なモデルです。高性能、安全性、乗り心地を高い次元で両立し、卓越したエレガンスとパワーを備えた、当時の理想を体現する存在でした。7リッターおよび8リッターのV12エンジンは、最大200PS(147kW)を発揮し、最高170km/hに達するなど、当時屈指の性能を誇りました。

Mercedes-Maybach S 680 V12 Editionは、そのV12の伝統のクラフトマンシップを現代に受け継ぐモデルです。さらに本モデルでは、「マイバッハ・ツェッペリン DS 8」のフードオーナメントから着想を得た「12」のモチーフを随所にあしらひ、ヘリテージへのオマージュを実現しています。



The Maybach DS 8 Zeppelin four-door convertible (1932)

「Mercedes-Maybach S 680 V12 Edition」の特長

エクステリアデザイン

本モデル限定装備となる外装色は、下部にオブシディアンブラック(メタリック)、上部に MANUFAKTUR オリーブ(メタリック)を配したツートーンペイントを採用しました。V12 エンジンをシリーズで初搭載した伝説の名車「マイバッハ・ツェッペリン」を彷彿させるカラーリングです。

通常はボディカラー下部と同色になるピンストライプには、コントラストの効いたハイテックシルバー(メタリック)が塗装され、唯一無二のキャラクターを際立たせます。この特別な塗装は、職人による緻密な仕上げ工程により、最大で 10 日を要し、これは、マイバッハの通常のツートーンペイントの工程時間の約 2 倍です。さらに、外装色と同色の MANUFAKTUR オリーブ(メタリック)ペイントを採用した本モデル限定装備の「20 インチマイバッハホイール<鍛造>」を装備しています。

Cピラーには、アイコン的な本モデル専用のエンブレムを装備しています。マイバッハ・エンブレムに加え、V12 エンジンのシリンダー配置に着想を得た V 字型パターンの彫刻を 24 金で仕上げたインレイと、24 金製メダルリングで構成された本モデル限定ロゴバッジを装着しました。さらに、伝説の「マイバッハ・ツェッペリン DS 8」のフードオーナメントに着想を得た「12」をあしらったクロームとゴールドのメダルを組み合わせ、特別な存在感を演出しています。



※画像は欧州仕様車

インテリアデザイン

本モデル限定装備として、内装色「MANUFAKTUR サドルブラウン／ブラック（MANUFAKTUR ナッパレザー）」、「MANUFAKTUR ナッパレザールーフライナー」、内装色と統一感のある MANUFAKTUR ナッパレザーステアリングを採用しています。随所に MANUFAKTUR アイテムを採用することで上質で高級感のある空間を演出します。

センターコンソールには本モデル限定ロゴと、世界限定 50 台のうちの 1 台であることを象徴する「1 of 50」が彫刻された限定バッジが施され、ヘッドレスト（前席・後席）には、本モデル限定ロゴの刺繍があしらわれています。

さらに、後席リアコンソールにもマイバッハ・エンブレムの下にゴールドのインレイをあしらい、「12」を組み合わせたマイバッハ・エンブレムが 12 個のゴールドサークルに囲まれるように配されるなど、細部に至るまで比類なきクラフトマンシップを体現します。



※画像は欧州仕様車

パワートレイン

通常モデル「Mercedes-Maybach S 680」と同じく、6.0 リッターV 型 12 気筒ツインターボエンジン「M279」を搭載し、最高出力 612PS (450kW)、最大トルク 900N・m という余裕あるパワースペックを備え、9G-TRONIC のトランスミッションと 4 輪駆動システムの 4MATIC を組み合わせることで、必要以上にエンジン回転数を上げることなく快適な走行性能を実現しつつ、前後の駆動力配分を常に最適化しています。

その他の特長

特別な本モデル限定アクセサリとして、内装色と同色の「MANUFAKTUR サドルブラウン」のナツパレザーで仕立て、職人の手作業による本モデル限定ロゴを配した特別仕様のキーギフトボックスおよびキーリングが付属します。さらに、同色のパイピングを施した専用フロアマット、本モデル限定ロゴをあしらったシャンパングラスなど、細部にいたるまで特別感を演出するアイテムも同梱されています。

また、通常モデルでは有償オプションとなるファーストクラスパッケージを標準装備とし、後席の快適性をさらに向上させています。



※画像は欧州仕様車

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル名	Mercedes-Maybach S 680 V12 Edition
MP*3	202601
ステアリング	左
販売台数	5台
外装色	ツートーンペイント:オブシディアンブラック(メタリック)／MANUFAKTURオリーブ(メタリック) ※ツートーンペイントは「ボディ下部／ボディ上部」の順で記載しています。
内装色	MANUFAKTURサドルブラウン／ブラック
インテリアトリム	ハイグロスポプラウッドインテリアトリム
本モデル 限定装備	<ul style="list-style-type: none"> <セーフティ> ➤ リモートパーキングアシスト ➤ メモリーパーキングアシスト <エクステリア> ➤ 外装色ツートーンペイント: オブシディアンブラック(メタリック)／MANUFAKTURオリーブ(メタリック) ➤ ピンストライプ ハイテックシルバー(メタリック) ➤ 20インチマイバツハホイール<鍛造> <インテリア> ➤ 内装色:MANUFAKTURサドルブラウン／ブラック
限定車 追加装備	<ul style="list-style-type: none"> <インテリア> ➤ MANUFAKTURナツパレザールーフライナー ➤ MANUFAKTURロゴ入りリアシェルフ ➤ MANUFAKTURイルミネーテッドステップカバー ➤ 左右独立シート(後席) ➤ 格納式テーブル(後席) ➤ シャンパングラス <機能装備> ➤ クーリングボックス ➤ Burmester®ハイエンド4Dサラウンドサウンドシステム
メーカー希望 小売価格*4 ()内は消費税抜き 車両本体価格	¥ 53,990,000 (¥ 49,081,819)

*3: MPとはメルセデス・ベンツ日本にて使用しているモデル識別コードになります。

*4: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。価格は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

なお、Mercedes-Maybach S 680 V12 Edition には、新車購入から3年間、一般保証修理／定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)／24時間ツーリングサポート／地図データ更新*5が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

さらに、メルセデス・ケア終了後、有償の保証延長プログラムとして、一般保証および24時間ツーリングサポートを2年間延長する「保証プラス」と、4、5年目のメンテナンスサービスにおいて、初回車検時および4年目の点検や定期交換部品、消耗品の交換をパッケージでご提供する「メンテナンス プラス*6」をご用意しています。

*5: 地図データの更新にはデジタルプロダクトのマップアップデートをアクティベーションする必要があります。

*6: 新車登録日から59か月後の応当日の前日、または総走行距離75,000km到達時のいずれか早い時点で終了となります。



Mercedes-Maybach S 680 V12 Edition

※画像は欧州仕様車

マイバッハについて

1921年9月、マイバッハ・モーターレンバウ社のシリーズ生産車第1号となったW 3が発表された瞬間から、1つの伝説が生まれました。4輪ブレーキ(ドイツ車初)や、プラネタリーギアボックスと6気筒エンジンの組み合わせ(1速で全速度域に対応)、豪華なウッドや本革張りの室内など、その設計/デザインは既成概念を打ち破るものでした。このクルマはあたかも走る芸術品のように大衆を魅了しました。しかし、確実に長く継続するには絶えざる進化が求められます。

1961年、ダイムラーがマイバッハ・モーターレンバウ社を買収し、その後2002年になって新時代を開くマイバッハ62を発売しました。シリーズ生産車第1号100周年に当たる2021年、メルセデス・マイバッハは、「メルセデス・マイバッハSクラス」、そしてSUVの「メルセデス・マイバッハGLS」を発表。2024年にマイバッハ初となる電気自動車、「メルセデス・マイバッハEQS SUV」を発表。そして2025年に2シーターオープンモデルの「メルセデス・マイバッハSL」を発表し、ラインアップを拡充しています。

メルセデス・ベンツ アニバーサリーイヤー“140 Years of Innovation”

カール・ベンツが140年前に世界初の自動車の特許を取得し、そのすぐ後にゴットリープ・ダイムラーが4つの車輪を持つ世界初の自動車として知られるモトキャリッジを完成させて以来、メルセデス・ベンツは常に革新を追求し、お客様にとって「世界で最も魅力的なクルマ」をつくることに情熱を注いできました。

この志こそが、1886年の世界初の自動車から最新のインテリジェントな機能と高い安全性を備えた電気自動車に至るまで、あらゆるイノベーションを突き動かしてきました。2026年1月29日の新型Sクラス発表を皮切りに、メルセデス・ベンツは歴史上最大規模の製品投入をさらに進めてまいります。

卓越したパフォーマンスとパイオニア精神、そしてお客様への揺るぎないコミットメントを原動力に、メルセデス・ベンツは一貫してモビリティの未来を形づくってきました。

その結晶は、単なる技術革新を超え、メルセデス・ベンツのすべての根底にある、唯一無二の感覚を生み出しています。

自動車誕生140周年を記念し、3台の新型Sクラスが世界140カ所を巡る旅に出ています。それぞれの地では、ブランドが誇るテクノロジー、歴史、パイオニア精神などを象徴的に紹介していきます。「140 Years. 140 Places」の様子は、特設サイト*7「[140 years of innovation | Mercedes-Benz Media](#)」および「[Mercedes-Benz Community](#)」にてご覧いただけます。

*7: 英文サイトになります。

※本プレスリリースに記載されている仕様およびメーカー希望小売価格は、発行日現在の内容です。